

とうきょう すくわく プログラム活動報告書

施設番号	27
施設名	葛飾区南奥戸保育園
施設所在地	葛飾区奥戸 2-30-11
法人名	葛飾区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

泥

<テーマの設定理由>

雨上がりの園庭にできる水たまりで泥遊びを楽しんでいたりと、砂場に水を運び泥遊びを楽しむ姿が日常から見られていた。土に水が入ることで感触が変わっていくことに興味を持っていたため、色々な素材に触れる経験を通して好奇心を深めていきたいと思いテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- ①令和7年6月：雨天時に園庭にできる水たまりで遊ぶ。
- ②令和7年7月：砂場でどろんこ遊びをする。
- ③令和7年10月：築山に水を流して遊ぶ。
- ④令和7年11月：テラコッタ粘土の感触を味わう。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ①雨が降ったあとの園庭遊び(小雨時含む)が楽しめるよう、長靴とレインコートを各家庭に用意してもらった。
- ②夏の間にとろんこ遊びを経験するために日程・環境設定をする。
- ③園庭に築山を設定する。
- ④土粘土(テラコッタ粘土)の用意をする。
・バケツ ・ジョーロ ・スコップ ・シャベル ・砂遊び用具

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ① 6月：小雨時に雨具を着て園庭散歩を楽しむ。雨水の流れや水たまりの濁りの変化に興味を持ち、水たまりの中を歩いたりシャベルで混ぜてみる。
- ② 7月：砂場でどろんこ遊びをする。砂場遊具を使って大きな川やダム、山を作る。
- ③ 10月：築山での泥遊びをする。砂場のどろんこ遊びとは違った感触を楽しむ。
- ④ 11月：テラッコタ粘土に触れ手足で感触を楽しんだり、好きな形を作って楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ① 水たまりの中に入ると、最初は澄んでいた水がだんだんと濁っていき「なんかさっきより茶色い！」と気付く。また、「川にしてつなげよう！」と水たまりと水たまりを繋げて水の流れの観察を楽しむことができた。雨が水たまりに落ちると輪っかの模様ができることなども発見することができた。
- ② 砂場でどろんこ遊びでは、砂がトロトロ→ドロドロに変化していくことに気が付いたり、足がどんどん沈んでいく体験をして驚く子どもたちの姿が見られた。砂と水の分量を自分たちで調整し感触や変化の様子を楽しんだ。どろだんご作りに発展すると、水の分量は多すぎない方が丈夫になること、握る力の加減が大事なことに気が付いた。
- ③ 築山のへこんだ頂部に雨水が溜まり、泥遊びへと発展。砂場の泥との感触の違い(粘度)を発見。どろだんごが固く丈夫に作れたことを喜んでた。
- ④ 裸足になり全身で粘土の感触を味わった。重さや冷たさ、団子だけでなく、好きな形を作って遊ぶ楽しさを味わった。固まっていた粘土が水を含むと溶けていくことを不思議がる様子が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段から興味を持っていた泥遊びが、存分に楽しめる環境を設定したことで更に興味関心が広がっていった。～したらどうなるのかな？と感じた疑問を、実際に経験することで納得していく様子も見られ、自分たち自身で探求していくことの大切さを感じた。団子作りや、砂遊び、どろんこ遊びなど遊びの幅も広がった。